

盛大なる掻き落とし



なんじゃこりやと思われるかもしれませんが。サンプルがあまりよくありませんね。(我ながら)
白い土と他の色土(赤・青・黄の3色)を重ね合わせ、後から表面を削ると、削ったところが多重の色に見えるという代物です。
慣れると、巻きカップにしたり色々できると思いますが、まずはシンプルなタタラで小皿で試してみましょ。面白ければ、またやります。

①



乾いた(あるいはよく絞った)ふきんの上で60gの丸めた土を叩いて円状に伸ばします。

できるだけちゃんとした円になるのが良いですね。

おすすめ: 白×2、赤・青・黄それぞれ1枚

②



叩いた円を2ミリのタタラ(プラスチック製)で更に伸ばして厚さを2ミリにします。

延べ棒は中心から外に向かって転がしましょう。片栗粉は、使わないようにしましょう。あとで重ねてくっつけるから。

③



2ミリに伸ばせたら、12cm程度の円の型に合わせてカットします。写真はありませんが、今度はボール紙のタタラ(1ミリ以下の厚さ)に変えて、②と同じように伸ばして厚さをできれば1ミリ以下にします。(なかなかできないけど)

白から始めて、他の色も同様にやります。

④



まず白を底にして、水を少しつけて、他の色お好みで色の順番を考えましょ。1ミリ以下重ねてみると、けっこう厚くなります。



⑤



白で始まって、例えば赤・青・黄色と重ねたら、また白で終わります。かなり厚くなると思うので、今度は5ミリのタタラを置いて、さらしを上にかぶせ、中心から伸ばしていきましょう。

これは空気抜きの意味もあるので、丁寧に。そして、伸ばし方によって楕円になったりいろんな形になるので、考えながら伸ばしていきましょう。

⑥

出来上がった5ミリのタタラの片側に名前を必ずいれましょ。

縁をあげ、今週はここで完成。来週、少し固くなったところを削って模様を出します。